

少子高齢化

市長 明智 忠直



少子高齢化が叫ばれて久しい昨今、旭市でもこの問題は急速に進行しています。高齢化率は28・4%、少子化について30年前880人だった出生者数は、500人前後と半減しています。全体での人口も10年前と比べ、約5千人減少しています。人口減少を止めるためには、社会全体で子育てを支援することが重要だと考えます。市では独自の厚い支援を多く行っています。家族や社会、地域の理解や協力なども重要となってくるのではないのでしょうか。

教育環境、定住促進、雇用の場の創出、レジャー施設などの整備を行い、若者に魅力あるまちだと認識されることも大切です。こちらにも旭市には、旭中央病院という大病院があります。2、200

人を超す雇用の場であり、安全・安心面でも担保できるものであります。総合戦略に掲げている、旭中央病院から道の駅季菜里あさひ周辺の「生涯活躍のまち」形成、道路網の整備、市の魅力アップを図るPR事業、集客施設などの誘致ができれば、人口減少も食い止められるのではないのでしょうか。

もう一つの課題は高齢者への支援であります。日本の平均寿命は女性が87歳、男性が81歳。世界一、二位の高齢者大国であります。旭市でも近い将来、三人に一人が65歳以上になることが予想されます。ますます高齢化が進む中、自分の楽しみ、豊かさを実感できるよう、健康寿命を伸ばすことも重要となります。老人クラブの充実を支援して、組織を通じてにぎやかで活動的な一人一人であってほしいと念じるものであります。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／2日(木)～7日(火)、16日(木)、21日(火)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560 <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「秘密結社Ladybirdと僕の6日間」

喜多川 泰 著
(サンマーク出版)



才能がありながら水泳部を辞め、無気力な毎日を送る颯汰は、ある大人たちと出会ったことで、少しずつ成長していく。

「太郎とさくら」

小野寺 史宜 著
(ポプラ社)



東京で暮らす太郎は、姉の結婚式で出会った姉の実父と同居する羽目になる。離れていてもつながる家族の心温まる物語です。

新着図書

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| ● 春日大社のすべて (花山院弘匡) | ● さまよえる古道具屋の物語 (柴田よしき) |
| ● 羽柴を名乗った人々 (黒田基樹) | ● よるのばけもの (住野よる) |
| ● 結局、人は顔がすべて (竹内一郎) | ● 電王 (高嶋哲夫) |
| ● 奇跡の醬 (竹内早希子) | ● 自生の夢 (飛浩隆) |
| ● 暴走司会者 (田原総一朗) | ● 時が見下ろす町 (長岡弘樹) |
| ● 清原和博への告白 (鈴木忠平) | ● 幻庵 上・下 (百田尚樹) |
| ● 再発！それでもわたしは山に登る (田部井淳子) | ● おばちゃんたちのいるところ (松田青子) |
| ● 満潮 (朝倉かすみ) | ● 静かな雨 (宮下奈都) |
| ● 蜆の孫 (天野純希) | ● 三鬼 (宮部みゆき) |
| ● 砂漠の影絵 (石井光太) | ● 草花たちの静かな誓い (宮本輝) |
| ● クラウドガール (金原ひとみ) | ● カズサビーチ (山本一力) |
| ● サーベル警視庁 (今野敏) | ● 私をくいとめて (綿矢りさ) |
| ● 春に散る 上・下 (沢木耕太郎) | |

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／3月9日(木)、23日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館